

# こども宅食事業等の実態把握に関する アンケート調査

2021年3月8日

一般社団法人こども宅食応援団

## 本調査の前提:なぜ調査をやるのか

弊会は「支援が届きにくい、SOSをあげにくい家庭とどうつながり、支えていくか?」という課題に着目し、「定期的な食支援をきっかけに子育て家庭とつながり、関係を作りながら次の支援につなげていく」活動の全国普及に取り組んでいます。2017年に東京都文京区が開始した宅配型の「こども宅食」の名がメディアを通じ広まりましたが、同じ課題意識でそれ以前から活動している全国の方々の取り組みや発信もあり、事業の数が徐々に増えてきました。さらに、今年度は国の第二次補正予算の「支援対象児童等見守り強化事業」のなかでこども宅食が1つの支援メニューとして取り上げられました。

急増する虐待対応で児童相談所や自治体の人手が不足する中、こうした官民連携の事業をさらに全国に広げ、悲しい事件に巻き込まれる子供を1人でも減らしていくためには、**全国の事業の実情や課題を整理し、予算や制度をもっと使いやすくする提案を国や自治体に届けていく必要があります**。また、「家庭との関係構築」や、「他の支援へのつなぎ」に実際どんな活動や工夫が寄与しているか等を分析し、**好事例やノウハウを集め全国の団体間で共有し有効活用するためにも、現場で起きていることを皆さんに教えて頂くことが必要不可欠です**。

しかし、食品は寄附か購入か、相談員がいるか、連携する機関はどこか、など**地域や団体によってやり方が異なり、全国に一つとして同じ事業は無く、現地視察やヒアリングだけで状況を理解することが難しくなってきました**。今回の調査では、単なる数字だけでなく皆さんが取り組まれていること、感じている課題やもどかしさについても声を集め、また、ご利用家庭からも率直な意見を聞くことで、いろいろな角度から事業を分析し、それを上記のような制度提案や立ち上げ支援活動、全国共通の課題の洗い出しとその対応策・ノウハウの見える化につなげていきたいと思っています。

**これから皆さんの後が続く新たな地域、団体や、その先にいる全国のこども宅食を必要としているご家庭のためにも、ぜひ調査へのご協力を何卒よろしくお願いいたします。**

## (参考)こども宅食とは...

定期的に自宅に食品を配送することをきっかけに家庭とのつながりをつくり、関係性を築きながら見守っていきます。ご家庭の変化をいち早く見つけ、様々な専門的支援につないでいくことで、ご家庭の困りごと、つらい状況が悪化するのを予防していきます。

### 家庭とつながる

自宅に直接食品を届けるので、**支援を受けていることを周囲に知られたくない家庭とつながる**ことができる。また、仕事と家事で多忙な世帯や、コロナで外出が難しい世帯にとっても**宅配型は利用しやすい**。

### 関係性を築く

メールやLINEでの連絡や配送時の受け渡しを通じて、**利用家庭と定期的な接点を持つ**ことができる。定期的なやり取りを通じて、**相談ができる関係性をつくる**ことができる。

### 変化を見つける

定期的に接点を持ち、関係性を深めていくことで、**より多くの情報を得やすくなる**。必要な情報を集めることで、**家庭の変化や問題の予兆に気づき**、支援につないでいく。

## 調査の骨子:事業の分析モデル

今回の調査では以下の分析モデルをもとに、4つの観点で事業の実態を把握したいと考えています。  
 食品配送、アウトリーチ、ソーシャルワークの3つを構成要素として考え、それらに関する設問を用意しています。  
 ※こうした事業分析は厚労省の子育て支援事業のガイドライン等でも採用されている手法です([参考資料](#)44頁ご参照)。

回答者:実施団体

回答者:利用家庭

資源の投入 (インプット)

活動

活動の結果 (アウトプット)

成果 (アウトカム)

どれくらいの資源を投入して運営しているか？

事業としてどのような活動をしたか？

活動によってどのような結果を出しているか？

活動の結果がどのような成果を利用家庭にもたらしたか？

ヒト

食品配送

配送世帯数・量

QOLの向上

モノ

アウトリーチ

関係性構築

受援ハードルの低下

カネ

ソーシャルワーク

相談支援

支援による変化

## 調査概要

事業の実態把握のために、今回は2つの調査を同時に実施します。

調査	実施団体向け調査	利用家庭向け調査
対象者	現在、こども宅食事業を実施している全国の民間団体・自治体の事務局 (国の「支援対象児童等見守り強化事業」でこども宅食型(お弁当配送型含む)の事業をしている団体を含む)	地域のこども宅食を利用している利用家庭
形式	Webアンケート(スマホ、PC)	Webアンケート(スマホ、PC)
所要時間	<b>30-40分程度</b> ※活動範囲・規模によります	<b>20分程度</b>
設問一覧	<a href="https://questant.jp/e/kodomotakushoku_jittaiha_aku_202003_kakunin">https://questant.jp/e/kodomotakushoku_jittaiha_aku_202003_kakunin</a> ※こちらは <b>事前確認用の画面</b> で回答できません。 回答は次ページのURL先に入力をお願いします。	<a href="https://questant.jp/e/kodomotakushoku_jittaiha_aku_riyoutatei_kakunin">https://questant.jp/e/kodomotakushoku_jittaiha_aku_riyoutatei_kakunin</a> ※こちらは <b>事前確認用の画面</b> です。 実際の回答は利用家庭向けの案内チラシに記載のURLまたはQRコードから実施することになります。
実施期間	3月8日～3月 <b>22日</b>	3月8日～3月 <b>31日</b>

## 実施団体のみなさんをお願いしたいこと

### ①実施団体向け調査アンケートへの回答をお願いします。

- ❖ 以下のURL先にある調査アンケートに回答をご記入ください(全団体共通のURLです)。  
[https://questant.jp/q/TAKUSHOKU\\_JITTAIHAAKU\\_JISSIDANNTAI](https://questant.jp/q/TAKUSHOKU_JITTAIHAAKU_JISSIDANNTAI)
- ❖ 所要時間は**30-40分程度**を想定しています(活動内容や規模によって変わります)。
- ❖ 回答の途中で中断、回答を保存することはできないので、注意してください。
- ❖ 前ページの表の中にある「設問内容」から事前に設問を確認することができます

### ②利用家庭向け調査アンケートの配布・リマインドに協力をお願いいたします。

- ❖ メールにリンクを貼った利用家庭向けのチラシをメールやLINE等でご案内してください。  
ご家庭向けへの案内文については、次頁のテンプレートをご活用ください。
- ❖ メールやLINE等での連絡ができない場合は、申し訳ありませんが、印刷して配送時に同梱をお願いいたします。  
(印刷が難しい場合は、こちらで印刷して郵送いたします。別途ご連絡ください。)

## 【参考】利用家庭向け案内文(※ご自由にお使いください)

こんにちは。こども宅食応援団の事務局を担当している、本間と申します。

こども宅食応援団は、食品の配送等を通じて地域と子育て家庭がつながる「こども宅食」という事業を全国に広げていく活動をしています。現在、全国の活動のサポートや、この事業を継続的に続けていく環境づくりのため国や自治体への働きかけなどを行っています。

その活動の一環として、全国のこども宅食や似たような食のサービスを利用しているご家庭に対して、事業のどんなところが良いか・助かっているか、全国でどのようなご家庭が利用しているか、地域の子育て支援メニューの使い勝手などを知るために 70箇所以上に依頼し、全国一斉調査を実施することにしました。

皆さんの利用中のサービスがより良いものになるよう、そして、まだサービスが始まっていない地域も全国に多い中、活動が普及するように、みなさんの声を集めて、国や自治体、民間団体のみなさんに届けていきたいと思っています。お忙しいとは思いますが、ぜひ、調査への協力をお願いいたします！

アンケート回答先: 以下の URL から回答をお願いいたします。添付の **チラシ** にも概要が記載されておりますので、そちらもご確認ください。

**★★(民間団体の皆様:こちらに利用家庭向け案内から URL を転記してください)★★★**

所要時間: 約 20 分

回答期間: 3月5日 0:00 から 3月31日 24:00

補足:

★得られた情報については、個人が特定できないような形にしてとりまとめ、こども宅食の実態調査レポートとして公開します。

★本調査には、メールアドレスや住所など個人情報を記入する欄はありません。また、得られた情報から個人を特定するような活動は一切実施いたしません。

★地域の利用家庭の集計結果は、対象地域の実施団体に限り共有する場合があります。ただし、その場合も個別の家庭が特定できるような回答データを直接渡すことはありません。

★弊会が過去に実施した全国調査レポートはこちらです( <https://hiomare-takushoku.jp/2020/05/28/1753/>)

# 各種資料の説明:

## ▼弊会から3/8(月)に送付したメール(サンプル)

(※へ前提として、調査結果については、個々の団体やこの地域ならではのわからないような形でレポートにとりまとめます。ご安心ください。)

### 2. 調査協力費:

回答頂いた1団体あたり2万円  
(振込方法は別途連絡。)

### 3. 回答〆切:

①団体向け: 3/22(月)〆切

②利用家庭向け: 3/31(水)〆切

(※①のみの回答でも調査協力費支払いの対象です。)

### 4. アンケート票 (オンライン回答のみ)

①団体向けアンケートURL

[https://questant.jp/q/TAKUSHOKU\\_JITTAIHAAKU\\_JISSIDANNTAI](https://questant.jp/q/TAKUSHOKU_JITTAIHAAKU_JISSIDANNTAI)

②利用者向けアンケートURL

②-1 東京都〇〇区〇〇見守り便[99] 向け:

<https://questant.jp/q/>

②-2 利用者へのアンケート案内チラシ:

<https://hiromare-takushoku.jp/wp/wp-content/uploads/2021/03/allchirashi.pdf>

### ◆子ども宅食応援団・フローレンスとは?

一般社団法人子ども宅食応援団および事務局長の認定NPO法人フローレンスは、経済的困難や地域からの孤立といった

ご自身の団体名や事業名と一致していることを確認し、アンケートURLをご利用家庭にLINEなどで連絡ください。

その際、アンケートの仕方を分かりやすく説明したチラシも是非ご活用ください!

クリックするとチラシのPDFファイルが開きます  
(印刷して配布も可)

The image shows a flyer titled '子ども宅食事業の実態把握のための全国調査にご協力ください!' (Please cooperate with the nationwide survey for grasping the actual situation of the children's home food service!). Below the title, it lists the survey flow in three steps: 1. Use a PC or smartphone. 2. Enter the QR code and return. 3. 20-minute response time. At the bottom, it states the survey period from March 8th to March 31st, 2021, and includes logos for the organizing organizations.



## 調査実施上の注意点(実務団体向け調査について)

- 今回のアンケートの設問は、さまざまな特色のある全国各地の事業者にも事前ヒアリングをした上で設計しています。ご自身の団体の活動範囲や趣旨と異なるものも一部含まれていて答えにくいものもあるかと思いますが、この点ご了承頂ければ幸いです(目的や規模が異なる様々な団体がいる中で、全体の動向や差異を分析するためであり、個々の事業の良し悪しを評価する趣旨ではありません)。
- 事業の実態をできるだけ詳しく把握するため、設問数が多く、内容も多岐にわたります。本資料**5ページにあるURLで事前に設問内容を確認して頂く**と回答しやすいかと思っています。
- 調査結果については、**個々の団体やどこの地域なのかわからないような形でとりまとめ**実態調査レポートとしてこども宅食応援団Web上で公開する予定です。また、厚生労働省にも提出し、制度改善や予算化の実現につなげていきたいと思っています。
- 調査レポートについては電子データで共有させていただきます。活動報告や地域自治体への提案などにご活用ください。
- 特定の民間団体の調査結果を、任意の自治体に提供することはいたしません。
- 回答して頂いた場合には**調査協力費として、団体宛に2万円をお支払いさせていただきます**。支払い方法等については、アンケート回答後に別途連絡をいたします。

## 調査実施上の注意点(利用家庭向け調査について)

- 本調査には、メールアドレスや住所など個人情報を記入する欄はありません。また、得られた情報から個人を特定するような活動は一切実施いたしません。
- 本調査で記入して頂いた情報は個人が特定できないような形にして分析し、実態調査レポートとしてこども宅食応援団のWeb上に公開させていただきたいと思っております。
- 調査で得た情報については、以下の文言を利用家庭に提示し、同意を得た上で回答に進むようにしています。

本調査につきましては、本アンケートの送信者／団体とともに、協力団体である認定PO法人フローレンス、一般社団法人こども宅食応援団が情報処理を取り扱います。情報の利用は、子育て世帯の状況把握及び食料支援活動の計画検討などの利用目的の範囲内でのみ使用し、利用目的の範囲を超えた個人情報の取り扱いは一切行いません。また、インターネット上での調査報告やプレスリリースなど、第三者にこの情報を伝える場合は、個人が特定されない形で提供されます。ご賛同いただける方は、「同意する」にチェックの上、ご回答にお進みください。

- 地域の利用家庭の集計結果は、対象地域の実施団体に限り共有いたします。

**個別の家庭が特定できるような回答データを直接渡すことはありません。**

事業を実施している利用家庭の方の生活実態や地域の支援の利用状況や支援に関する考え方を把握する機会としてご活用頂きたく、ぜひ調査の実施にご協力頂ければと思います。

## 本調査に関するお問い合わせ

以下のアドレスにメールにてご連絡ください。



こども宅食応援団

[info@hiromare-takushoku.jp](mailto:info@hiromare-takushoku.jp)

◆過去にこども宅食応援団や事務局のフローレンスで実施した調査:

- ・ (20年5月) 京都こども宅食プロジェクト:

<https://www.city.kyoto.lg.jp/sogo/cmsfiles/contents/0000273/273183/02shiryo.pdf>

- ・ (20年3月) 1万人が回答「一斉休校に関する緊急全国アンケート」

<https://florence.or.jp/news/2020/03/post38598/>